

CSR 活動 2024



S.P.E.C.株式会社



目 次

1.S.P.E.C.株式会社について	1
1.1 基本理念	1
1.2 会社概要.....	1
1.3 事業経営方針	2
1.4 埋立処分ゼロを目指して	3
1.5 持続可能な社会・持続可能な企業へ～SDGs	3
2.CSR 基本方針	4
3.組織統治	5
4.安全・衛生.....	5
4.1 安全衛生推進委員会	5
4.2 場内清掃	6
4.3 作業環境測定.....	6
5.環境	7
5.1 ISO14001.....	7
5.2 地球温暖化対策	8
5.3 所有資格	8
5.4 環境モニタリング	9
5.5 ISO14001 全社教育.....	10
6.情報セキュリティ.....	10
7.一般公開	11
7.1 工場見学.....	11
7.2 キャリア教育協賛	11
8.地域活動.....	12
8.1 東京スーパーEコタウン協議会.....	12
8.2 地域ボランティア活動	12
9.ようこそ S.P.E.C. へ	13
あとがき	14

【編集にあたって】

S.P.E.C.のCSR活動は今回で3回目となりました。コロナ禍対策はマスク着用も任意となり集団活動の自主規制もなくなりました。工場見学も通常に戻り実施しています。

工場創設8年目、S.P.E.C.株式会社のCSR活動をよりご理解いただけるよう、情報開示を推進して参ります。

1.S.P.E.C.株式会社について

1.1 基本理念

当社は、地球環境問題を経営の最重要課題の一つとして共通認識し、事業活動における環境負荷の軽減に努め、環境に配慮した企業活動を行うことを基本理念とする。

1.2 会社概要

運営会社		工場概要	
会 社 名	S.P.E.C.株式会社(スペック)	名 称	エコレ城南島
代 表 者	深江 伯史	取締役工場長	佐々木 浩志
役 員	代表取締役 深江 伯史 専務取締役 小川 和真 取締役工場長 佐々木 浩志 監査役 今村 賢一郎	CSR室長	大波 雅之
住 所	〒143-0002 東京都大田区城南島3丁目2番8号	住 所	〒143-0002 東京都大田区城南島3丁目2番8号
T E L	03-5755-9884	敷地面積	8,847.17m ²
F A X	03-5755-9132	建物面積	4,040.34m ²
U R L	https://www.ecore.tokyo	延べ床面積	5,432.22m ²
出資会社	5億円	許 可	産業廃棄物処分業
出資会社	シグマテック株式会社 株式会社サンビック 麻生商事株式会社		特別管理産業廃棄物処分業 産業廃棄物収集運搬業 汚染土壤処理業
		登録・認定等	ISO14001(2015版) 優良産廃処理業者認定制度優良認定 ・東京都産業廃棄物処分業 ・東京都産業廃棄物収集運搬業 東京都優良性基準適合認定事業者 第一種評価基準適合業者 (産廃工キスパート) ・東京都産業廃棄物中間処理業 ・東京都産業廃棄物収集運搬業 (積替え保管を除く)

※2024年10月現在



1.3 事業経営方針

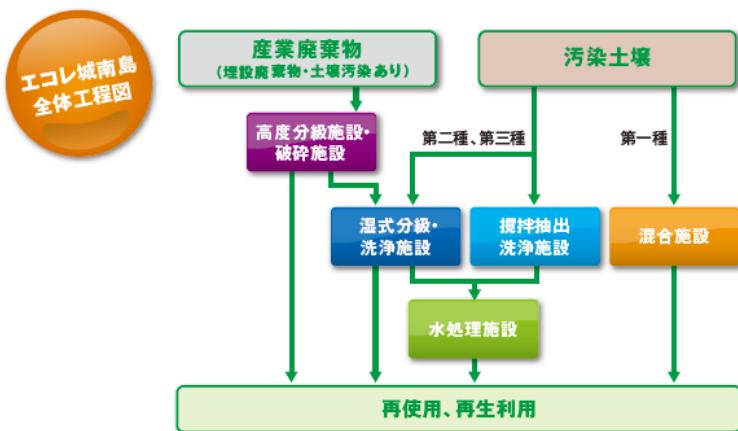
廃棄物の適正処理に対する関心の高まりを背景に、国では廃棄物の減量・リサイクルの推進等を重要課題の一つとしている。特に、環境基本法(平成6年制定)では「循環を基調とする経済社会システム」や「地球環境保全」を目標とした基本方針が示された。その後、廃棄物処理問題を全般に捉えた法案として「循環型社会形成推進基本法」が平成12年制定、同時に個別物品に対するリサイクル法(容器包装リサイクル法、建設リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法、自動車リサイクル法)も制定された。また、環境負荷の低減に資する物品・役務について、国等の公的部門における調達の推進や情報提供等を図る目的で、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(通称"グリーン購入法")が制定されている。一方、日本全体で排出される一般廃棄物は年間約5,000万トン、産業廃棄物は年間約4億トンで推移しており横ばいの傾向が続いている。一般廃棄物については、地方自治体が定める処理計画に沿って処理がおこなわれる中で、焼却処理以外の中間処理施設及び再生事業者への搬入が増加しているが、依然約680万トンもの量が最終処分されている。また、産業廃棄物については、建設業界から排出される廃棄物が約7,700万トンであり、全産業廃棄物の排出量の約2割を占めている。不法投棄量においても、重量ベースで約8割を占めている。こうした背景により、逼迫する最終処分場の問題や後を絶たない不法投棄等の問題を解決し循環型社会を形成するうえで、廃棄物のリサイクル対策は重要な役割を担っている。当社は、製造工場、建設現場、廃棄物中間処理施設などから排出される廃棄物を適正にリサイクルするために全国各地に処理のネットワークを広げており、本事業では各ユーザーのさらなるリサイクル推進の要請に応えるべく、可能な限り最終処分量の減量化を目指したリサイクルセンターを構築するものである。東京都スーパーEコタウン事業の趣旨にマッチしたリサイクルを推進すると共に、継続的に常に高いレベルでの環境保全活動に取り組むことを事業経営方針とする。

1.4 埋立処分ゼロを目指して

東京都スーパーイコタウンプロジェクトに参画し建設した中間処理施設「エコレ城南島」は、これまでリサイクル不可能として埋立処分されてきた産業廃棄物や汚染土壌に適切な前処理を行い、リサイクル可能な資源として生まれ変わらせることを最大の目的としています。

また「エコレ城南島」は産業廃棄物処分業と汚染土壌処理業の両方の許可を取得することにより、多種多様な廃棄物と土砂が混在した埋設廃棄物が処理可能だけでなく、土砂(土壌)が汚染されていた場合にも処理することが可能です。

「すべての廃棄物は資源になり得る」と考え、3R活動の一環として産業廃棄物や汚染土壌にリサイクルを目的とした処理を行うことで社会全体の廃棄物のリデュースに寄与し、この地球を次世代に引き継いでゆく責任を果たすと共に循環型社会形成の一翼を担って参ります。



1.5 持続可能な社会・持続可能な企業へ～SDGs

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げされました。

2030年を達成年限とし、17の目標と169のターゲットから構成されています。



S.P.E.C.では持続可能な社会・持続可能な企業を目指し、SDGsに配慮した取組・ビジョンを明示しています。

2.CSR 基本方針

「エコレ城南島」は、東京都条例による環境影響評価を実施しており、環境保全活動にも力を入れて参りました。工場稼働の開始から 2 年目となる 2019 年の 1 月、さらなる社会的責任を担うべく CSR 室が設置されました。

CSR 室では、「CSR 基本方針」に基づき、持続可能な社会で持続可能な企業を目指し CSR 活動を推進しています。

CSR 基本方針

当社は、循環型社会形成の一翼を担う企業として、社会的責任を尊重し、社会、環境、法令、文化等の多様性を考慮し、持続可能な社会の形成に寄与することを CSR 基本方針とします。

1. 組織統治

当社は、社会的責任を果たすため、組織における職務権限・責任を明確にし、組織統治を重んじた事業活動を行います。

2. 人権

当社は、働くすべての人の人権を尊重し、ハラスメントを防止し、立場・年齢・性別・人種・国籍・文化・宗教等あらゆる差別を排除します。

3. 労働慣行

当社は、労働基準法及び労働安全衛生法を遵守し、働くすべての人に安全で健康な職場を提供し、維持・改善するよう労働環境の向上を図ります。

4. 環境

当社は、IS014001 の活動を推進し、東京都スーパーイコタウン事業の趣旨に則したりサイクル事業を推進し、継続的に常に高いレベルでの環境保全活動を行います。

5. 公正な事業慣行

当社は、倫理的な行動のもと、贈収賄・汚職を防止し、誤った情報、不当表示、威嚇また強制を伴う活動を禁止し、公平・公正で透明性のある事業活動を守ります。

6. 顧客その他利害関係者に関する課題

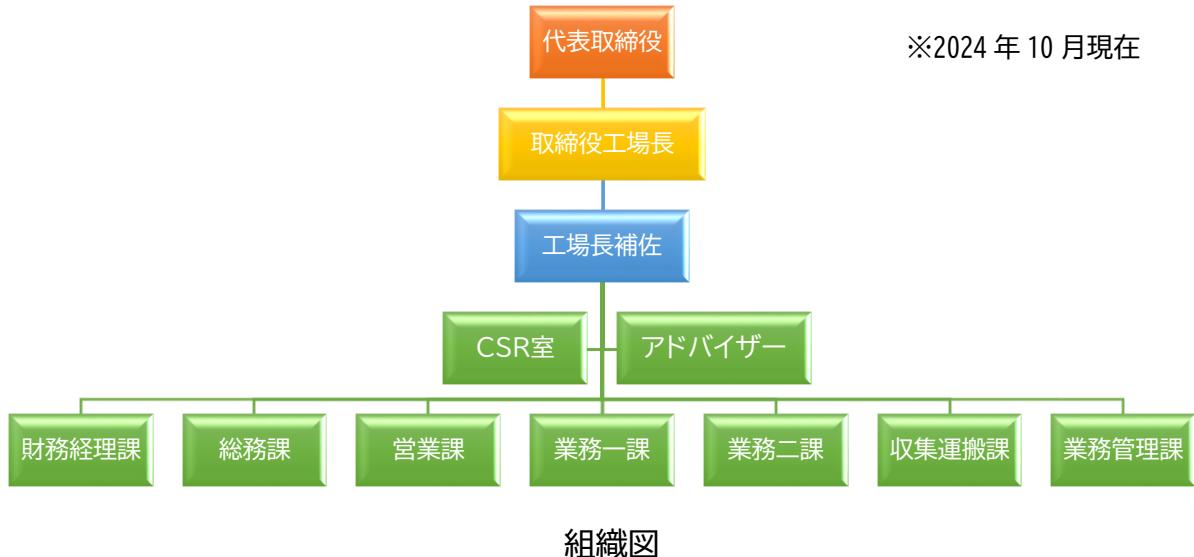
当社は、顧客その他利害関係者の要望に応え、積極的な情報公開、見学者の受入、業務改善その他研究開発を継続的に行い、持続可能な社会の形成に貢献します。

7. コミュニティ参画

当社は、東京都スーパーイコタウン事業の 1 企業として、地域行事に積極的に参加し、地域社会での協調関係・信頼関係を築く活動を推進します。

3.組織統治

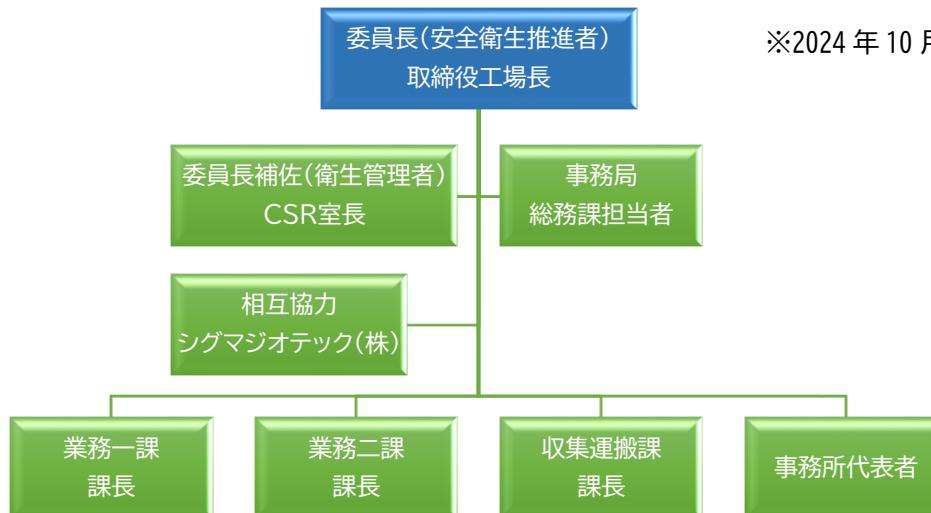
S.P.E.C.は以下の組織で運営しています。CSR 室では組織統治を重んじた事業活動の推進や円滑な事業活動のサポートに努めています。



4.安全・衛生

4.1 安全衛生推進委員会

S.P.E.C.では、朝礼時の KY・ヒヤリハット、毎月開催している安全衛生推進委員会、作業環境測定、安全パトロール、化学物質リスクアセスメント等の労災防止活動を行っています。S.P.E.C.では、2024年10月現在、休業する災害は創業当初より発生していません。



4.2 場内清掃

S.P.E.C.では場内に粉じんが堆積しやすいため、適宜粉じん対策や清掃を行っています。2023年、従来から稼働しているスイーパー(乾式)を入れ替え、高圧洗浄車(湿式)も導入し、清掃が困難な泥状となっても清掃可能となりました。高圧洗浄車(湿式)は路面に高圧洗浄水を噴射し、協力に吸引できる仕組みとなっています。吸引したものは弊社の洗浄・水処理施設で適切に処理し、処理水は下水放流します。

なおこれらの清掃車は公道でも利用できるよう、標識番号標(ナンバープレート)を取得しています。



4.3 作業環境測定

S.P.E.C.では、衛生管理者や作業環境測定士のもと、労働安全衛生法を順守し定期的に粉じんや騒音等について作業環境測定を行っています。測定結果は安全衛生推進委員会にて報告し、対策や適切な保護具の着用を行っています。

5.環境

5.1 ISO14001

S.P.E.C.では産業廃棄物処分業と汚染土壌処理業の2つの事業を実施し、事業そのものが環境に深くかかわっていることから、創業当初からISO14001認証を取得し、業務と一体となり環境保全に積極的に取り組んでいます。

CSR室ではISO14001事務局として活動を推進しています。

ISO14001の取組では、法令順守はもちろんのこと、リサイクル化の推進、省エネ対策、従業員の力量向上といった環境目標や課題について、PDCAサイクルにより、さらなる改善へと取り組んでいます。



環境方針

当社は、汚染土壌・廃棄物の処理事業を通じ、汚染土壌・廃棄物のリサイクル技術の向上を目指し、基本理念である地球環境問題解決のために、次の施策を実施致します。

- 1 当社の事業活動、製品・サービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めると共に、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
- 2 環境に関する法規制や、当社が受入れた利害関係者からの要求事項を遵守すると共に、環境保全の継続的改善を図る。
- 3 当社が行う事業活動、製品・サービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマ(目的・目標)として改善活動を推進する。
 - ①受入れた汚染土壌・廃棄物のリサイクル率向上を目指し天然資源の枯渇の抑制に貢献する。
 - ②各種設備、車両等に使用する燃料や電気エネルギーの削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇の抑制に努める。
 - ③工場内環境保全の質的向上を図り、汚染の予防と環境の向上に努める。
 - ④汚染土壌処理技術及び廃棄物処理技術の実質的向上に努める。
 - ⑤各種業務効率の改善により省資源・省エネを図る。

5.2 地球温暖化対策

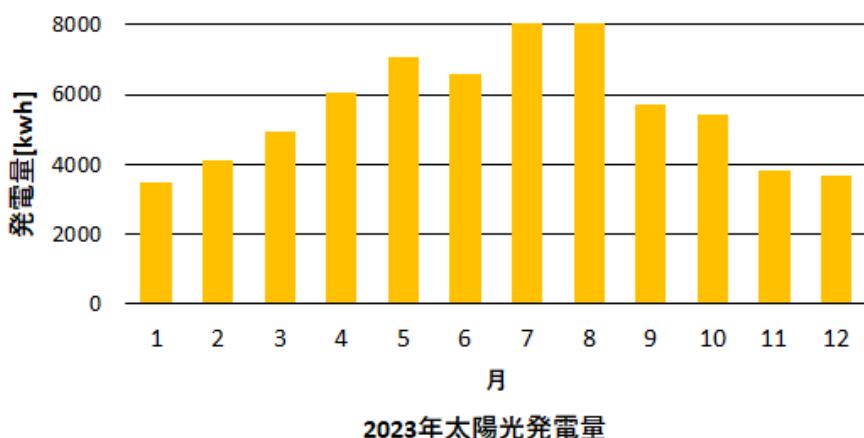
S.P.E.C.では太陽光発電により地球温暖化対策に取り組んでいます。2023年1月～12月の太陽光発電による温室効果ガス(CO₂)削減量は33.1t-CO₂/年でした。

またS.P.E.C.では東京都環境確保条例に基づく「地球温暖化対策報告書」を東京都に提出・公開しています。

太陽光発電によるCO₂削減量

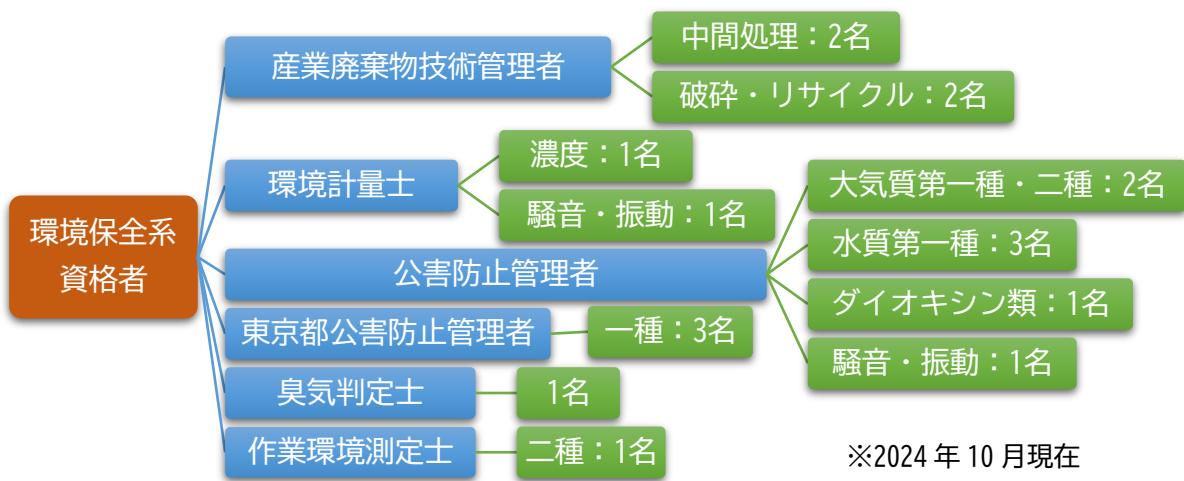
太陽光発電量[kWh]	CO ₂ 排出係数[t-CO ₂ /kwh]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂ /年]
67772.08	0.000489	33.1

注.CO₂排出係数は「東京都環境確保条例に基づく地球温暖化対策報告書制度」(2024年度版)より用いる



5.3 所有資格

S.P.E.C.では社員の力量向上・教育訓練の一環として資格取得を推奨しています。環境保全系資格者数は以下のとおりです。



環境保全系資格者

5.4 環境モニタリング

S.P.E.C.では環境計量士、公害防止管理者、臭気判定士の管理のもと、アスベスト、騒音、振動、地下水、集じん機排ガスの測定を行っています。また2023年度は臭気測定を行いました。2023年度の測定結果概要は以下のとおりです。

2023年度環境モニタリング結果概要

項目	測定地点	頻度	測定結果概要
大気中のアスベスト	敷地境界 4 地点	年1回	全地点で検出されませんでした。
騒音・振動	敷地境界 4 地点	年1回	騒音レベルは全地点で 64~70dB でした。 すべて自主基準値 70dB 以下でした。 振動レベルは全地点で 36~49dB でした。 すべて自主基準値 65dB 以下でした。
地下水 (環境基準項目及び 土壤汚染対策法地下 水項目)	敷地隅角 4 地点	年4回	カドミウム、砒素、クロロエチレン、ベン ゼン、ふっ素、ほう素、が検出されました。 検出された項目のうち、ふっ素は4点中3地 点で環境基準 (0.8mg/L) を上回りました。 ほう素は4地点中1地点で環境基準 (1mg/L) を上回りました。その他の項目は すべて環境基準以下又は土壤汚染対策法地下 水基準以下でした。 ふっ素及びほう素は工場開設前の調査でも 同様な傾向で確認されていることから、海水 由来または埋め土由来のものと考えられま す。
集じん機排ガス (土壤汚染対策法処 理省令第5条第20 号)	排出口 1箇所	年1回	PCB※が検出されたが、すべて許容限度 以下でした。なお、本施設は燃焼ガスは排出 していません。 ※PCBの許容限度：PCB等を焼却処分する場 合における排ガス中のPCB暫定排出許容限 界について(昭和47年12月環境庁通知、 環大企141号)
臭気	発生源 1か所 敷地境界 4 地点	自主調査	<発生源> 排ガス処理装置(集じん機)排出口の臭気 指数は20で規制基準(27)を下回りました。 <敷地境界> 風上側で臭気指数14、風下側で臭気指数 13でした。風上側で規制基準(13)を超過し ており、場外の影響があったことが考えられ ます。 他の地点では臭気指数は10未満~11で規 制基準(13)を下回っています。

5.5 ISO14001 全社教育

S.P.E.C.では、2023年度よりISO14001全社教育を実施し、ISO14001のしくみや社内の取り組み、公害防止活動、環境モニタリングの重要性や順守義務、またISO26000(企業の社会的責任)についてもテーマとしています。



PDCAとは

品質管理、業務改善等の活動・取組の手法です。
様々なテーマに活用できます。



目標に向かって
P:Plan（計画をたてる）
D:Do（実行する）
C:Check（評価する）
A:Act（改善する）※継続的な活動・取組は再びP（計画）へ

の工程、段階、プロセス、手順等を継続的に取り組み、目標を達成できるよう、より改善成果を求めていく手法です。
特にPDCAを継続して繰り返していくものを「PDCAサイクル」といいます。

10/24



SDGs:

Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標(2015年)



12/15



ISO14001 3.2.9順守義務(定義)

組織が順守しなければならない法的要
求事項、及び組織が順守しなければならない
又は順守することを選んだその他の要求
事項。(抜粋)



関係法律・条例や協定等が順守義務



14/21



本日のまとめ

- ① CSRはCorporate Social Responsibility 「企業の社会的責任」
- ② CSR室は「ISO26000社会的責任に関する手引き」の中核課題が取組テーマ
- ③ ISO26000の中核主題「4.環境」は ISO14001の取組そのもの
- ④ CSR室ではISO14001の順守義務のうち、協定や法令によるアスペクト、地下水、騒音・振動の測定を実施 →今年は臭気測定も予定

21/21

全社教育資料の例

6.情報セキュリティ

S.P.E.C.では、電子マニフェスト利
用の推進、勤怠管理システムの導入な
ど業務のDXを推進していますが、併
せて、不正アクセス禁止法の遵守、「中
小企業の情報セキュリティ対策ガイド
ライン」(IPA独立行政法人情報処理
推進機構)の活用等、情報セキュリティ
マネジメント担当者により日々の指導
を行っております。

情報セキュリティ 5か条

1. OS やソフトウェアは常に最新の状態にしよう！
2. ウイルス対策ソフトを導入しよう！
3. パスワードを強化しよう！
4. 共有設定を見直そう！
5. 露意や攻撃の手口を知ろう！

出典:IPA独立行政法人情報処理推進機構 HP

7.一般公開

7.1 工場見学

S.P.E.C.では一般の方々へ隨時工場見学を開催しております。また東京都・東京スーパーイコタウン協議会を通じて公益財団法人東京都環境公社よりも申込を行っております。ぜひお越しください。



東京スーパーイコタウン協議会 工場見学会のようす

7.2 キャリア教育協賛

S.P.E.C.では、地元小中学校のキャリア教育に協賛し、職業紹介・会社紹介としてキャリア教育教材「中学生のためのお仕事ブック」及び「小学生のためのお仕事ノート」に掲載・公開されています。

平成29年文部科学省より告示されている学習指導要領では、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるようキャリア教育の充実を図ることとされています。



中学生のためのお仕事ブック(港区・品川区・大田区)2024年度版

7.2 産廃情報ネット

S.P.E.C.では、ホームページのほか、公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団の産廃情報ネット「さんぱいくん」に会社情報、許可取得情報、優良産廃処理業者認定制度に係る公表事項の情報を掲載しています。

産廃情報ネットでは、産業廃棄物処理業者検索、優良認定業者情報の閲覧、許可自治体、廃棄物の種類などを条件に検索ができます。

8. 地域活動

8.1 東京スーパーイコタウン協議会

S.P.E.C.は、10社で構成されている「東京スーパーイコタウン事業」の一員です。「東京スーパーイコタウン協議会」では、運営委員会、理事会の会合のほか、共同防災訓練や工場相互視察といったイベントや、大田区との津波一時避難施設の協定といった地域社会への貢献を行っています。

8.2 地域ボランティア活動

コロナ禍で中止が続いていましたビーチクリーンアップ in 城南島が、2023年10月に5年ぶりに再開されました。東京スーパーイコタウンの一員として、近隣の方々と城南島海浜公園の清掃活動を行いました。清掃の後にはバーベキューが振る舞われ懇親の場となりました。



ビーチクリーンアップ in 城南島 2023年

9 ようこそ S.P.E.C. へ

S.P.E.C.では、2024年4月に2名の新卒者を迎えるました。4月1日入社式を開催し、経営陣より、新入社員に対して歓迎の意を伝え企業理念や心構えについてあいさつがあり、辞令交付、記念撮影を行いました。



入社式のようす

<新人インタビュー♪☆S・Jさん(男性)>

Q1.配属先と仕事の内容は？

A1.営業課で搬入予定や搬入量の調整、工場見学者の案内をしています。

Q2.この会社を選んだ理由、魅力は？

A2.社会貢献性の高さに魅力を感じています。

Q3.この会社に入社して良かったと思う点は？

A3.初めてのことが多い中、丁寧なご指導を受けています。また電話対応や仕事中に分からぬことについてもご指導いただきやすい環境です。

Q4.入社後に知った会社の魅力的な制度は？

A4.送迎バスを運行していることが魅力的な制度です。

Q5.入社後、新しいスキルや知識が身につきましたか？

A5.電話対応や会社説明ができるようになってきました。産業廃棄物や汚染土壌に関する知識についても理解し始めたところです。工場見学者への施設の説明を通じて、人前で話すことに慣れてきました。

Q6.当社で働くことで、自分が描くキャリア、将来の目標等を教えてください。

A5.より分かりやすくスムーズな説明や会話ができるようになること、産業廃棄物や汚染土壌に関する知識を深めること、お客様や社内の人々の要求に迅速に応えられるようになることを目標にしています。



<新人インタビュー♪☆M・Hさん(女性)>



Q1.配属先と仕事の内容は？

A1.業務管理課で汚染土壌や産業廃棄物の処理の際に必要になる伝票やマニフェストの管理を行っておりまます。

Q2.この会社を選んだ理由、魅力は？

A2.汚染土壌や産業廃棄物の資源化といった社会貢献度の高い仕事に関わると感じたからです。

Q3.この会社に入社して良かったと思う点は？

A3.社内の雰囲気がいいところです。様々な年代や経験の人々が集まっていますが、円滑に業務が推進されています。



Q4.入社前の会社の印象と、実際に働いてみて感じた印象の違いは？

A4.部署によりますが、女性の社員も少数ではなく驚きました。

Q5.入社後、新しいスキルや知識が身につきましたか？

A5.産業廃棄物の知識が身につき、実際の処理場を見学させていただく機会や処理業者向けの講習を受講する機会もいただき、とても勉強になっています。

Q6.当社で働くことで、どのようなスキルや経験を得たいですか？自分が描くキャリア、将来の目標等を教えてください。

A6.PCスキルを身に着け業務をもっと効率的にこなせるようになりたいです。

以上インタビューにご協力ありがとうございました

あとがき

2017年6月よりエコレ城南島が稼働を開始し8年目となりました。コロナ禍対策はマスク着用も任意となり、工場見学も通常に戻り実施しています。

S.P.E.C.のCSR室では東京スーパーイコタウン協議会の1員として、2023年度より協議会の事務局を担当しています。事務局では、運営委員会、理事会、東京都との意見交換会をはじめとしたイベントや取組・活動を推進しています。また、取組活動について東京スーパーイコタウン協議会ホームページのNEWSへの掲載を推進しています。

コロナ禍ではオンラインでの会合がほとんどでしたが、昨年より対面での活動がメインに戻りました。

CSR室は企業の持続的発展を目的に、社会的責任を果たして参ります。S.P.E.C.のCSR活動をどうぞよろしくお願ひいたします。



2024年10月
CSR室 室長 大波 雅之

CSR活動2024
S.P.E.C.株式会社 CSR室
〒143-0002
東京都大田区城南島3丁目2番8号
TEL:03-5755-9884
FAX:03-5755-9132



CSR活動2024
S.P.E.C.株式会社 CSR室
〒143-0002
東京都大田区城南島3丁目2番8号
TEL:03-5755-9884
FAX:03-5755-9132
<https://www.ecore.tokyo/>

